

平成30年度 第2回 碧南市介護サービス運営協議会会議録

1 日時

平成31年3月12日（火） 午後2時50分～午後3時20分

2 場所

碧南市役所 2階 談話室1・2

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者 禰宜田知司、河原厚司、大田康博、堀尾静、沢井智美、齋藤健、佐藤洋一、
高松好美（計8名）

(2) 事務局職員 健康推進部長 杉浦秀司、高齢介護課長 山田昌宏
高齢介護課課長補佐 杉浦洋子、
高齢介護課介護保険係長 石川真佐紀、高齢介護課主事 久保賢起
高齢介護課主事 平野佑佳
（計6名）

4 傍聴者

0人

5 議題

- (1) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）事業所の新規指定について
- (2) 地域密着型通所介護及び介護予防・日常生活支援総合事業（予防専門型通所サービス）事業所の新規指定について

6 議事録

【事務局】

あいさつ

【会長】

あいさつ

【事務局】

議題1（資料1）について説明

【会長】

説明が終わりましたので、議題「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）事業所の新規指定について」、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

【A委員】

事業所の名称について、以前からある施設と似ていて紛らわしいとの声を聞くが、市としては何か規制や指導はしないのか。また、先日見学に行った際に各居室にベッドが入っていたが、入居者が自分のベッドを持ち込むことはできないのか。

【事務局】

事業所の名称については、募集の段階で特に規定はしていない。今回、紛らわしいとの声は市にも届いているため、事業所のほうにはそのことは伝えてある。しかし最終的には事業所の判断で名称は決めていただくことになる。

ベッドについては、もちろん自分で持ち込むことは可能である。希望があれば施設のベッドを借りることもできる。

【B委員】

施設にエレベーターはあるのか。

【事務局】

あります

【C委員】

今回初めて、碧南市には直接ゆかりのない事業所が開設したグループホームである。地域密着型のサービスであるということを理解して、碧南らしさを大事にして欲しいと思う。

【D委員】

今後は今回の事業所のように、他市からの進出が増えていくかもしれない。それだけ碧南市が注目されているということだと思う。

【会長】

他にご意見、ご質問はございませんか？それでは、今回の新規指定の内容につきましては、特に問題ないということですので、この件について賛成の方は挙手をお願いします。

（全員賛成）

【会長】

それでは次の議題に移ります。

【事務局】

議題2（資料2）について説明

【会長】

説明が終わりましたので、議題「地域密着型通所介護及び介護予防・日常生活支援総合事業（予防専門型通所サービス）事業所の新規指定について」、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。

【B委員】

トイレが2個あり良いと思った。

【D委員】

段差があちこちにあるようだが、指定上問題はないのか。

【事務局】

段差の有無は指定上特に問題はありません。

【C委員】

介護予防や予防専門型とあるが、この「予防」とはどういう意味か。

【事務局】

もともと総合事業が始まる前からあった、介護予防支援のことを指している。そのまま引き継いだ名称である。

【C委員】

機能訓練指導員とは何か。

【A委員】

日常生活における機能訓練を計画する人のことである。

【会長】

他にご意見、ご質問はございませんか？それでは、今回の新規指定の内容につきましては、特に問題ないということですので、この件について賛成の方は挙手をお願いします。

（全員賛成）

【事務局】

今後の予定を説明